

令和7年度 第2回 内灘町男女共同参画推進委員会

【日 時】 令和8年3月25日（水）14：00～15：00

【場 所】 内灘町役場 4階 405会議室

【出席委員】 花輪委員、岡野委員、山崎委員、春田委員、石橋委員（5名）

【事務局】 文化スポーツ課男女共同参画室 中村室長、大久保課長補佐、堺井主査

会 議 内 容

1 挨拶

委員長 花輪 由樹

2 令和7年度事業報告

会議資料に沿って説明。

説明後にあった意見・質問は以下の通り。

①ふらっとミニセミナー

《託児について》

・託児は続けてもいいのでは。

依頼先が子育て支援センターなので、結果としてもし誰も利用者がいなかったとしても、継続して設けていることが大切。

《次年度以降のセミナーで男性の参加を促すために》

・ちょっとしたDIY講座のような男性が興味を持ちそうな内容や、夫婦や子連れでも来てもらえるようなセミナー内容を検討

・日程を週末に設定

・ポスターや広報での周知の際に、参加者の声として、アンケート記載の感想を「男性参加者の声」と「女性参加者の声」として同数載せるのはどうか。男性も参加していると分かると、他の男性も参加しやすくなる。

→アンケートを活用する場合は、アンケートに「個人が特定されない形で広報等に使用させていただく場合がある」旨の記載が必要

・数少ない男性参加者の声を聞きたいので、アンケートの自由記述の部分を書いていない場合に、セミナー後に直接インタビューするのもよいのでは。

・男性も女性も描いたデザインのポスターにするのはどうか。

・次年度の第一回委員会の時期を早めて講師選定前に話し合いたい

②働く女性の家、男女共同参画室共催事業

多くの女性に混ざって、男性が参加してくれていてありがたい。
ふらっとミニセミナーと同様に、男性の参加を促したい。

③内灘町女性協議会、男女共同参画室共催事業

- ・写真からとてもいいイベントだったことが伺える。
次年度の女性協議会の活動が難しい状況だということは理解できるが、イベントをすることで横のつながりはとても増えるので、男女共同参画室がもう少し業務を負担してイベントだけでも継続するかどうか
- ・イベントのみの継続というわけにはいかないと思うので、この会において女性協議会の活動について議論することはしないが、中高生や若者を巻き込み、会の継続に向けて色々な形を模索することもできるのは。

④パープルリボンキャンペーン

- ・過去のメッセージカードを一緒にツリーに下げてみては。
前年度のもの今年度のを区別できるようにスタンプ等をしてマークをつける方法で
- ・内灘高校は高校生が書いてくれていると思うので、一昨年のもや昨年のを展示すると、「先輩たちはこんなことを思って書いたんだな」というのも分かってよいのでは。
- ・場所ごとに複数年度集計して傾向を分析なども可能（委員長）
- ・石川県中央広域圏男女共同参画推進協議会で作成した冊子について高校生にA4の紙に内容をまとめることで男女共同参画について身近に感じてもらい、その内容で周知ポスターを作成、ツリーの周辺に掲示するなどして協力してもらいたい。
→美術部へのお願いであれば、県教育委員会を通さずとも依頼できるのではないかと思う。

⑤石川県中央広域圏男女共同参画推進協議会

内容が分かりやすくまとめられていて良い冊子

3 その他

委員の任期は令和8年12月31日まで
来年度の第1回会議が例年同様、秋ごろにある予定なので引き続きよろしくお願いたします。

→次年度の第一回委員会の時期を早めて講師選定前に話し合いたい

－ 閉 会 －